



▲健康の駅で講演を聞く参加者

オンラインで学ぶ 男女共同参画講演会 「女流落語家奮闘記」

2月11日、男女共同参画講演会をオンラインで実施しました。

女流落語家である桂三扇氏^{かつらさんせん}を講師に招き、男性が多い落語界で仕事と子育てを両立してきた講師の体験談を通し、男性も女性もあらゆる分野で活躍できる社会の実現について学びました。

三扇氏の落語を交えながらのユーモアあふれる講話を聞いた参加者からは「男女共同参画について笑いながら楽しく学ぶことができた」などの声が聞かれました。



▲左から鈴木佐栄さん、葛西美結さん、田中佑佳さん、高田真優さん、宮口桃花さん、横沢七海さん

古河の魅力をPR 新たな桃むすめが決定

1月29日、市役所古河庁舎で古河桃むすめの委嘱状交付および記者発表が行われました。

新たに鈴木佐栄さん、葛西美結さん、田中佑佳さんが選ばれ、前年から活動している3人と一緒に古河市の顔として活動していきます。

新メンバーの鈴木さんは「新型コロナウイルスに負けず、多くの方々に元気と古河市の魅力を届けたい」と意気込みを語りました。

水防災意識の向上を目指して 古河第三高等学校 水防災教育勉強会

1月31日に古河第三高等学校で、洪水災害の仕組みや河川工事の役割に関する勉強会がオンラインで開催されました。利根川上流河川事務所の協力のもと、(株)高橋芝園土木の社員が最新の技術を活用した取り組み等を説明。

受講した生徒は「日頃から被害を想定し、災害に備えたい」と話していました。



▲洪水の仕組みを学び、危険回避に関する知識を深めました

古河市在住・出身作家による 第11回古河の絵画美術展



▲迫力ある作品に見入る来館者

4月20日まで、古河街角美術館で「第11回古河の絵画美術展」を開催しています。

館内には、市内在住・出身で絵画制作活動を行っている作家の日本画や洋画など、55作品を3期に分けて展示。

来館者は、それぞれの作家の創作意欲あふれる作品に見入っていました。

小さなことから始めよう 環境について考える展示会

1月18日～27日に市役所三和庁舎で環境について考える展示会を行いました。

市内のボランティア団体や企業が環境をテーマに地球温暖化や食品ロスなどに関する資料を展示。訪れた人からは「簡単に実践できることもあるので、家に帰って早速取り組みたい」などの声が聞かれました。



▲たくさんの方が訪れ、環境への意識を高めました

最先端の技術を駆使して ドローンとAIを融合させた 救助活動の実証実験を実施



▲ドローンの映像から救助者の詳細情報を確認する隊員

1月26日に利根川河川敷で、県のプロジェクト事業の一環として新たな救助活動の実証実験が行われました。茨城西南広域消防本部の隊員が、市内でドローン開発を行う(株)ロックガレージの捜索支援システムを使用した訓練を実施。

参加した隊員は「救助者をすぐに発見できる」と早期の実用化に期待を寄せていました。